

# アオサギ観察会

2009年5月8日

ヒナ誕生の季節です！

春とともに渡ってきたアオサギは、桜の咲く頃にヒナを孵します。抱卵期間は25、6日。卵は一日おきに産みますから、全てのヒナが孵るのにはひと月ちょっとかかります。それまでぺたんと座っていた親が、やや中腰加減になってきたら、その翼の下にはきっとヒナが生まれているはずです。



ほとんどの時間、親の下でうずくまっているヒナですが、食事の時だけは別。巣の上にワタスゲのような白い塊がぴよこぴよこ見え隠れします。羽毛に覆われたヒナの顔は真っ黒でまるでカメのようです。親は餌場から戻ってきたときだけでなく、その後も何度かに分けてヒナに餌を与えます。

孵化後1週間ぐらいでしょうか。鋭い目つきに長い嘴と顔つきもずいぶん精悍になってきました。ただ、足下はまだまだ覚束きません。この頃のヒナは、親が巣に吐き戻した餌を食べています。かなり大きな餌を丸呑みすることもあります。大きな餌は親が小さくちぎっているようです。



首を伸ばす姿勢は一人前ですが、まだしばらくは親につきっきりで面倒を見てもらわなければなりません。羽根が生え揃わないうちは自分で体温調節することができないからです。それに、この大きさではカラスに立ち向かうには小さすぎますしね。親が巣を離れられるのは、もう2週間ばかり先のことです。